

防災マップ

Hitachinaka City Map of Designated Safety Evacuation Area

災害に備える

ひたちなか市は太平洋や那珂川に面しており、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）、2019年10月12日の令和元年東日本台風（台風19号）では甚大な被害を受けました。災害による被害を最小限にするためには、一人ひとりの防災意識や日頃からの準備が欠かせません。災害が発生した際に落ち着いて行動ができるように、この防災マップをお役立てください。



自助・共助・公助

自分の身は自分で守る（自助）、地域や近所の人助け合い（共助）、公的機関による支援（公助）によって、災害の被害を最小限におさえることができます。

自助（避難行動）

● **災害に備える**
「災害に備える」を参考に、風水害、地震・津波が発生した場合の避難方法を確認します。また、各家庭に合わせた備蓄を行います。
「防災情報の収集方法」を参考に、ひたちなか市からの情報、テレビ・ラジオ、ホームページ等、複数の手段を組合せて情報を確保します。

災害時の避難行動

「避難」とは **災害による被害を受けないために行うものです。**

指定避難所等への避難（立退き避難）を原則としますが、地震であれば、余震が発生しても建物が倒壊する危険性がないと判断できる場合、風水害であれば、浸水等の危険性がない立地で、天候が落ち着くまでの備蓄がある場合は、自宅等の屋内での避難（屋内安全確保）も可能です。また、指定避難所への避難以外の方法として、安全な地域にある親戚・知人宅等への避難も検討しましょう。避難後のことも考慮し、事前に方法・手段を決めておくことが安心です。

※緊急時に倒壊等の危険がある自宅へ戻る、家族を迎えに行くことは危険な場合があります。家族が合流する場所は事前に決めておきましょう。

指定避難所への立退き避難

避難所では、衛生環境の保持や自分や家族の健康管理に留意し、ルールやマナーを守りましょう。

小・中学校 コミュニティセンター

安全な地域にある親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

親戚・知人宅

屋内安全確保

屋内にいて安全が確保できると判断した場合や、外に出ることがかえって危険な場合などは、屋内での安全確保につとめます。
※津波や土砂災害の危険性がある地域では立退き避難が原則です。

ここなら安全

わが家の防災メモ

あらかじめ記入し、家族みんなが分かるところに置いておきましょう。

火事・救急 119 番	警察 110 番	災害用伝言ダイヤル 171 番	海上の事故・事件 118 番
------------------------------	---------------------------	----------------------------------	---------------------------------

親せき・知人などの連絡先			
名前	電話番号	勤務先・学校など	電話番号

家族の緊急用のデータ					
名前	電話番号	血液型	アレルギー	持病	常備薬

避難所・集合場所	
避難所	家族がはなればなれになったときの集合場所

共助（地域での助け合い）

● **地域での助け合いのために**
 大災害時には、本市をはじめ日本各地で、隣近所や自治会での助け合いによって多くの命が救われています。助け合いの輪を作るため、日頃から顔の見える付き合いをすることが重要です。

● **自治会（自主防災会）への加入**
 本市では自治会単位で自主防災会が組織されており、平時時・災害時を問わずに活動しています。災害が発生すると情報収集班や給食給水班などを組織し、住民の安全を守るための活動を展開します。また、地域の特徴にあわせた防災訓練を実施しています。訓練では、避難路や危険箇所の確認・共有や、初期消火訓練、炊き出し訓練等地域ぐるみで活動しています。

公助（市の防災体制と指定避難所）

● **市の防災体制**
 ● 発災後は、指定避難所の開設、市内のライフライン被害箇所の確認・復旧、またこれら災害情報の広報を行います。

● **指定避難所**
 ● 小中学校等やコミュニティセンターなど、市内59箇所の施設を災害発生時に開設するものです。
 ● 指定避難所の開設情報は、災害発生時に防災行政無線等で案内します。
 ● 必要に応じて衣服や食料、常備薬等を持参ください。

● **避難所の感染症対策**

基本方針 市では、感染症が市内に蔓延している状況下であっても、災害発生時は指定避難所を開設します。

感染症対策 指定避難所内は3密（密接・密閉・密着）を避けるために、施設内で受け入れられる避難者数の調整、距離を保った避難割振り、施設内のこまめな換気等の対策を行います。

受付方法等

- 受付では①手指を消毒し、②検温、③体調の聞き取りにご協力をお願いします。
- (自身に感染の疑いがある場合や体調がすぐれない場合は、受付の際に申し出てください)
- 避難者カードに必要事項を記載し、受付へ提出します。

災害に備える（風水害）

水害・土砂災害（風水害）が発生する恐れがある際は、下記「警戒レベル」を用いて情報が発信されますので、避難情報が発令された場合は必要に応じて速やかに避難を行います。

● **避難判断の基準（警戒レベル等）** 令和3年5月20日から

警戒レベル 5 緊急安全確保	安全な避難ができず命が危険な状況です。屋外への避難が困難な場合は、垂直避難等の命を守る最善の行動をとります。
警戒レベル 4 避難指示	速やかに危険な場所からの避難を行います。避難先は近くの指定避難所を基本としつつ、安全な地域にある親戚・知人宅等も検討します。
警戒レベル 3 高齢者等避難	避難に時間がかかる方は早めの避難をします。そうでない方も予定を見直すなど、情報収集や避難準備を始めます。
警戒レベル 2 気象情報（注意情報等）	今後に加え、こまめにニュース等を見る。避難時の非常用持ち出し袋の確認などを行います。
警戒レベル 1 早期注意情報	災害への心構えを高めます。

※警戒レベルは必ず順を追って出るものではなく、気象状況が急変した場合などは即時高いレベルの発令となることがあります。

● **避難の考え方**

- 警戒レベルの数値だけに注目するのではなく、家族構成や住宅の立地環境等によって、各自が早い段階で災害に備えることが必要です。
- 「警戒レベル4 避難指示」で危険な場所*にいる全員が避難しましょう。
*危険な場所とは：洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域等に含まれる地域。ご自宅がこれらの区域に含まれる場合は裏面を確認ください。
- 氾濫した水や倒木等によって道路が通行できない場合があるため、基本的に徒歩で避難します。また服装はケガをしないよう長袖・長ズボン、動きやすい運動靴が適しています。

避難行動の例

注意情報・警報等の発表前

- 洪水/土砂災害警戒区域等の対象となる地域に住んでいる方は、特に気象情報に注意します。
- 各種警報等が発表された際は、すぐ避難できるよう事前に準備をしておきます。

警戒レベル3 高齢者等避難の発令

- 避難に時間がかかる方は避難を開始します。（自宅が安全である場合は屋内安全確保とする）
- それ以外の方は気象情報に注意し、避難行動を開始できるようにします。

警戒レベル4 避難指示の発令

- 避難指示が発令された地域の方は全員避難を行います。（屋内安全確保を含む）

家庭で行う風水害対策

- 水はけをよくするため、側溝の清掃を行う。
- 屋外にある雨風で動きやすい物を固定する（アンテナ、カーポート、樹木等）。
- 浸水に備えて玄関や庭先に土のうを置く。

災害に備える（地震・津波）

地震はいつ起こるか分かりません。いざという時に素早く避難するためには、日常的に地震に備え、避難する場所等について家族で話し合いをしておくことが重要です。また、地震が起きた際にどのようなことが起こるか想定しておくことも、避難判断のために必要です。

避難行動の例

地震発生～5分まで

机の下等に身を隠します。揺れが収まってから火の始末などを行います。廊下や出入り口の安全を確認し、落下物等を取り除いて避難路を確保します。また非常用持ち出し袋を準備します。

5分後～30分頃まで

余震の可能性や津波の有無などを考慮し避難します。家屋が倒壊する危険性がある場合は、広い空き地等への避難を行います。また津波が想定される地区では、即座に高い場所へ避難します。

- 避難中は余震の可能性があるため、落下物や飛散物でケガをしないよう注意します。
- 道路は通行が困難な場合や渋滞等を考慮し、基本的に徒歩で避難します。

家庭で行う地震対策

- 避難路となる玄関や扉、窓の近くに家具等を置かない。
- 倒れやすい家具を固定する（固定マットや突っ張り棒等を使用する）。
- ガスコンロや電化製品、暖房器具等の近くに可燃物を置かない。

災害に備える（家庭での備蓄）

東日本大震災時は、市内全域の停電解消に約3日、断水解消に約2週間かかっています。備蓄する物は家族構成や持病等の有無などを考慮して決めます。下記の例を参考に、各家庭での備蓄を行います。

● **災害時に役立つ備蓄**

- 備蓄品は最低でも3日、可能であれば一週間分を目安に準備します。
- 電気や水道が使えない可能性を考慮します。
- 家族構成に応じて必要となるものを追加します。（例：液体ミルク、哺乳瓶、オムツ等）

家庭での備蓄の例	非常用持ち出し袋の例
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 食料品 ◇ 衣類、下着類 ◇ マスク ◇ 救急箱（薬）、体温計 ◇ 懐中電灯、乾電池 ◇ ラジオ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯充電器（バッテリー） ● ボリタンク ● 現金 ● その他

無理のない備蓄のために（ローリングストック法）

ローリングストック法とは、食料品等を普段から、「消費した分より少し多めに買う」ことです。常に食料が多めにあることで、災害時にも余力いつも通りに生活することができます。またレトルト食品等の消費期限が長く、加熱調理が不要なものを揃えておくことが重要です。

防災情報の収集方法

防災情報は日頃から複数の手段で収集できるようにしましょう。いざという時に慌てずに行動できるよう、様々な方法で情報を集め、避難等に役立てください。

ひたちなか市からの情報

● **市公式ホームページ**
 主に避難所開設状況や市道等の通行止め情報を確認できます。（大規模災害時には各種支援情報も掲載します。）

URL <https://www.city.hitachinaka.lg.jp/>

Twitter [@hitachinakacity](https://twitter.com/hitachinakacity) (防災情報以外にも市のイベント情報等をお知らせします)

● **防災行政無線**
 災害情報や緊急のお知らせなどを音声により市内に放送します。屋外に設置している放送塔のほかに、各家庭や事業所では、屋内で放送が聞ける「戸別受信機」をご利用いただけます。
※戸別受信機は市役所生活安全課にて無料貸出しをしています。

● **ひたちなか安全・安心メール**
 防災行政無線で放送した内容や気象情報を配信しています。

登録用 URL <https://service.sugumail.com/hitachinaka/>
(安全・安心メールの登録ページが開きます)

● **テレホンサービス**
 48時間以内に行われた防災行政無線の放送内容を確認できます。

電話番号 **029-275-3174** ※火災情報：029-272-0119

● **防災アプリ**
 気象情報の通知機能を持ったアプリであれば、事前に大雨情報等をお知らせしてくれるものもあります。ひたちなか市では、Yahoo!JAPANと協定を結んでおり、Yahoo!防災アプリでは避難所マップの閲覧や、ひたちなか市からの防災情報を受け取ることができます。

● **Yahoo!防災速報** 登録用 URL <https://emg.yahoo.co.jp>
※アプリ内「設定」→「地域の設定」にて、「ひたちなか市」を設定してください。

テレビ・ラジオ

- **NHK総合テレビデータ放送**
 テレビのリモコン操作で、「dボタン」を押す → 赤（気象情報）を押すことで、河川の水位情報等を確認できます。
- **茨城放送（IBS/AM1197 FM94.6** ※水戸放送局）
- **水戸コミュニティ放送（FMはるるん/FM76.2）**

ホームページ等

● **茨城県（防災・危機管理ポータルサイト）**
 県内の警報発表情報、被害状況等を確認できます。また、県防災メールの登録もこのページから行えます。

URL <http://www.bousai.ibaraki.jp/>

Twitter [@ibaraki_Bousai](https://twitter.com/ibaraki_Bousai)

● **気象庁**
 天気予報、雨量レーダー、気象警報等を確認できます。トップページの「防災情報」から各地に発表中の警報等を、「地域の情報」から天気予報等を見ることができます。

URL <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

Twitter [@JMA_kishou](https://twitter.com/JMA_kishou)

● **常陸河川国道事務所**
 河川情報、雨量情報、道路規制・渋滞情報等を確認できます。トップページ右側の「防災・災害情報」、「河川」、「道路」等の項目から選択してください。

URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/>

● **川の水位情報**
 全国の河川の水位、ライブカメラ映像を見ることができます。地図上から必要な箇所の水位図やカメラ映像を選択してください。

URL <https://k.river.go.jp/>

● **東京電力**
 市町村別に現在の停電軒数を表示します。

URL <https://teideninfo.tepcoco.jp/>

● **公共交通機関等**

- **日本道路交通情報センター**
 道路の工事情報、通行止め箇所、渋滞情報等が地図上で確認できます。
 URL <https://www.jartic.or.jp/>
- **JR東日本**
 運行情報・連休情報を確認できます。
 URL https://traininfo.jreast.co.jp/train_info/
- **ひたちなか海浜鉄道**
 運行情報・連休情報はツイッターにて発表しています。
 Twitter [@minatoline_op](https://twitter.com/minatoline_op)